

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【4号機 燃料取り出し用カバー建設工事配置図の記載誤りについて】</p> <p>設備主管箇所が、4号機 燃料取り出し用カバー内に機器の据付けを検討していた際、作成した寸法図の数値等に記載誤りを確認。</p> <p>この図面の情報の基となった、4号機 燃料取り出しカバーの図面を確認したところ、誤記があることが判明。当該誤記に伴う影響調査を実施した結果、図面上の誤記のみであり、すでに申請済みの実施計画および安全評価上に問題がないことを確認済み。</p> <p>今後、4号機 燃料取り出し用カバー建設工事の図面作成当時の状況を確認し、原因調査および再発防止対策を実施予定。</p>	GⅢ	12月17日
2	<p>【工所用機材仮置き可燃物への養生の不備について】</p> <p>協力企業作業員が、仮置きエリアとして使用する目的で除草作業を行い、刈草を収容していたフレキシブルコンテナバックを仮置きしていたところ、可燃物に対する養生の不備があることを、原子力運転検査官から気付き事項の連絡を受けた。</p> <p>原因は、可燃物の養生の際は難燃シート(不燃シート含む)等で養生することを理解していたが、現物確認を失念していたことが判明。</p> <p>なお、当該除草作業が継続していることから、難燃シートによる是正処置について、実施していることを確認。</p> <p>今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	12月20日
3	<p>【共用プール空気冷却器(C-2)電動機部品発錆に伴う分解点検不可および単体試験時の異音発生について】</p> <p>協力企業作業員が、共用プール空気冷却器(C-2)電動機の本格点検において、カップリング引抜き作業時、発錆によりキー抑え用の部品(セットビス)が抜けず、分解点検作業による軸受け交換ができないことを確認。</p> <p>そのため、点検種別を本格点検から一般点検へ変更。</p> <p>一般点検後、電動機単体試験を実施するも、負荷側軸受け付近より異音を確認されたため試験を中断。</p> <p>なお、共用プール空気冷却器は当該設備以外に5基の予備があることから、切り替え運転により問題なし。</p> <p>今後、電動機の取替えを検討予定。</p>	GⅢ	12月20日